

真鶴町観光協会

観光情報の発信が協会の仕事です!

町観光協会では、自主的な観光の誘致活動、各種メディア・旅行業者への情報提供、宿泊施設・観光名所・交通機関の案内など観



情報発信基地

光を目的とする旅行者の利便を図っています。協会総事業費約1,690万円のうち、町から900万円の補助金を受け、各種事業の企画、立案、運営にあてています。

真鶴キッズ俱楽部



安心して働けます!

真鶴キッズ俱楽部は平成21年度から放課後児童対策として開始されました。その目的は、保護者の就労や長期疾病などにより、放課後、子どもたちが帰宅しても子どもの面倒を見る保護者のいない小学校低学年が対象です。

2名体制のもと活動の場を提供し子どもの健全な育成を図るものであります。まなづる小学校の東校舎の空き教室を利用していまます。開設時間は、小学校の下校時間から午後6時までです。土・日や祝日は開設します。せんが、夏・冬休みや春休みは通常どおりで行つてします。現在は12名のキッズが放課後の俱楽部に集い、ます

宿題を済ませた後おやつを食べます。そのあとは自由に遊びます。が、出来るだけ外遊びをさせることを心がけ



子どもも親も安心

この他に子どものおやつ代として別途2,000円かかります。利用料は月額6,000円です。21年度決算実績は、歳入は受益者負担金として67万5,000円、歳出473万8,540円は委託料が主なものです。これは国からの補助金、緊急地域雇用市町村補助金「ふるさと雇用再生特別基金」が使われています。



私たちだから出来ることがあります



町の予算 どんなことに使われているの?

特集

私たちの仕事は支え
「愛」です!

真鶴町 社会福祉協議会

物による告知・案内、ホームページを使った情報発信を行ない旅行者を町に呼び込むために日々、力いっぱい努力しています。

観光案内所は、駅前ロータリーと情報センター内と貴船神社前の3カ所にあります。

ページを使つた情報発信を行なうよう、行政は諸施策を実施していますが、町のサービスが届きにくいところを地域福祉の担い手である社会福祉協議会が支援しています。

社会福祉協議会は昭和61年4月に社会福祉法人を取得して「地域で支え、支えられる安心して暮らせる社会づくり」を基本理念に諸活動を開いています。

平成22年度は、町からの補助1,231万5,000円をうけています。

一般会計経常活動資金収支予算是1億

143万7,000円で歳出は1億2,355万4,000円です。

福祉サービスを必要とする町民が確実にサービスを受けられていいるとのことです。定員は15名です。

この他に子どものおやつ代として別途2,000円かかります。利用料は月額6,000円です。21年度決算実績は、歳入は受益者負担金として67万5,000円、歳出473万8,540円は委託料が主なものです。これは国からの補助金、緊急地域雇用市町村補助金「ふるさと雇用再生特別基金」が使われています。

今後も、町が目指していく「健やかで心かよう安らぎのまち」の実現に向けて、地域福祉の推進に努めています。団体として行政と一緒に、地域に密着した福祉事業に貢献していきます。

主要な補助事業は、*ボランティアセンター活動 *在宅重度障害児者福祉タクシー助成 *知的障害者交通費助成 *日常生活自立支援 *社会福祉大会への助成等の事業を実施しています。

主な補助事業は、*ボランティアセンター活動 *在宅重度障害児者福祉タクシー助成 *知的障害者交通費助成 *日常生活自立支援 *社会福祉大会への助成等の事業を実施しています。

主な補助事業は、*ボランティアセンター活動 *在宅重度障害児者福祉タクシー助成 *知的障害者交通費助成 *日常生活自立支援 *社会福祉大会への助成等の事業を実施しています。